

立派だよ!

「今、わたしたちのできること

マスクDEココイク講座

井原市立芳井小学校 6年1組

187号

IBARA

6年生

「コロナと共に それぞれのできること

わたしたちは、今「新しい生活様式」を取り入れながらの暮らしを余儀なくされています。やがて中で「コロナと共に」という考え方が必要とされています。新型コロナウイルスと共に生きながら、わたしたちの暮らしのものを変えていこうといつもので、今回は、それぞれの人がこれからできることを考えてみます。

わたしのできること

「マスクをしましょ。外から帰つたら手洗い・うがい、手指の消毒をしましょ。」など、生活の中で今まで以上にしなければならないことが増えています。これらの生活では、一人ひとりがエチケットを守り、自分のために、そして自分の周りの大切な人のために、自覚を持つてできることを考え、実践していく必要があります。

井原市共同募金委員会では、井原市の保・幼・小・中・市立高校へのマスク配布事業に伴い、マスクDECOマイク講座（福祉の心を育むマイク講座）のDVDを作成、配布しました。視聴した芳井小学校6年1組の児童のみなさんは、

「家で頼まれた」とは、自分でできる範囲でお手伝いする。ちゃんとマスクをして、手洗いをしっかりとある。」など自分たちのできることを教えてくれました。（表紙）

また、これから夏に向けて、熱中症にも注意が必要です。マスクを着けることで熱中症のリスクが高まるため、屋外では周りの人と距離を取って、マスクをはずし、こまめに水分補給を行いましょう。そして何よりも大切なことは、規則正しい生活を心がけ、バランスの良い食事をゆつくりと楽しみ、心と体の免疫力を高めて笑顔をいつぱいつぱり、元気でいることです。

みんなのできること

新しい生活様式の中で、みんな大切な人たちを守っています。この機会に、友人や家族など、普段、自分の周りにいる人たちへの感謝の言葉を伝えてしまがでしょうか。

「とんとんDECOマスク」



できるマスク(500円)を購入し、
オリジナルマスクをつくろう!!

DECO代 200円

全額赤い羽根共同募金への寄付

※ご希望に沿えないこと、時間を要することがあります。

例えば、外出が難しく、家にいることが増えた高齢者に対しても定期的に電話をしたり、短時間の訪問をして、お互いの情報交換などをします。その時に、「次はいつ電話するね」「こう訪ねるね」「何か困ったときはこいつでも連絡してね。」などこのことを伝えてあげれば、その口に向かって希望が持て、生きがいにつながっていきます。

自分の周りの人への気遣いは人の心を豊かにし、笑顔にしてくれます。お互いをねぎらい、「いつもありがとうございます。お互いをねぎらい、「いつも云えましょう。」の言葉をしつかりと伝えましょう。

す。
「**いいじい、地域の出番ですか!!**」



**「今日を生きるために、未来を変えるために、
今できる」とと共にやつていきましょう。」**

地域に住んでいた高齢者や子どもたちに対しても、近所福祉ネットワーク活動による自然な見守りとなる、今、地域のできる活動の一つです。

学校が再開した子どもたちは、登下校中も少し元気がなく、下を向いて歩いている子が見られます。あなたが笑顔で話しかければ、相手は楽しい気持ちになり、周りに喜びの輪が広がっていきます。高齢者や子どもたちの笑顔は、住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりにつながっています。



「コロナが落ち着いたら……」
と考えるより「コロナと共存しながら、自分自身の価値観を変え、新しい常識を取り入れていく」とが必要です。

例えば、すでに習慣化している手洗い・うがいも、お気に入りの石けんやハンドソープを使うだけで気分も変わり、一気に癒されタイムになります。ポジティブな気持ちは、緊張を和らげ、人を前向きにします。まずは、自分の周りからできることを考え、実践し、共感していくことです。

どんなに困難な環境下でも、わたしたちは周りとの間に新たな関係性を作りながら、よりよく生きていいくことができるはずです。

ウイルスに負けず健やかに暮らす、 その羅針盤となる5つのこと。

1 体力・免疫力を保とう Stay Healthy

「かかるないよう気をつけること」「感染しても症状が軽くて済むように免疫力を高めておくこと」のために十分な栄養と睡眠、適度な運動を心がけよう。



2 ポジティブな気分でいよう Stay Positive

「心のエネルギーが低下すると、身体のエネルギーも低下する」コロナの暗いトンネルの中で、明るいニュースを探し共有しよう。



3 つながりを保とう Stay Connected

物理的な距離を保ちながらも社会とつながる姿勢を保つことが大事。心身の元気のために、物理的には難しくとも、人との触れ合いを持ち続けよう。



4 感謝の気持ちを忘れずに Stay Thankful

命を救うべく最前線で働く医療従事者の方々、生活に必要なものを届けてくれる方々がいる。直接の機会がなくとも、心の中で感謝の気持ちを持とう。



5 大事なことは考え続けよう Stay Focused

目の前にある危機が去った後も、社会は続いていく。「子どもたちの子どもたちの子どもたちのために」本当に大事なことを考え続けよう。



みんなの手 その14

インタビュー

①きっかけは?

1人ひとりが地域のボランティア活動をしながら、いきいきと生活できるようなまちづくりを目指して発足。

②大切にしていることは?

いつかは自分たちの行く道なので「できる時にできることを!」というやさしい奉仕の心。

③やりがい・楽しみは?

「助かるよ」「ありがとう」の声!
さらに、継続してできることの充実感と仲間との交流♪

~井原市社会福祉協議会ボランティアセンター登録団体紹介~

美星町ボランティアグループ

『ひまわり会』



設立: 平成元年5月30日
会員数: 41名

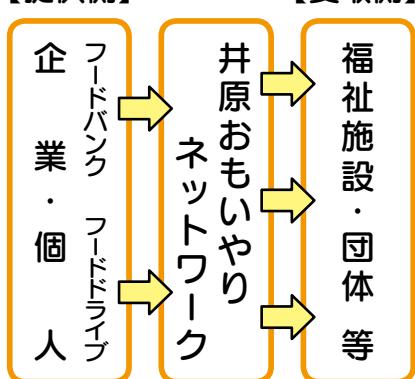
活動内容: 福祉施設で清掃やおしめたたみ
幼稚園での食育ボランティア活動
ボランティア研修

活動日: 毎月第2・4火曜日13:30~15:00
不定期で施設等の行事支援活動



ボランティア研修

【提供側】



【受取側】

◆ 福祉施設・団体等

- ◆ 穀類(米・小麦粉等)、農作物(根菜類等)
- ◆ 保存食品(缶詰・瓶詰等)
- ◆ インスタント食品、レトルト食品
- ◆ 調味料各種、食用油
- ◆ 飲料(水・ジュース・コーヒー・紅茶等)
- ◆ フルーツ、離乳食
- ◆ ギフトパック(お歳暮・お中元等)
- ◆ 生活用品(ティッシュ・紙おむつ等)
- ◆ ふりかけ、お茶漬け、のり



【受付日時】

月曜日~金曜日
(祝日を除く)

9:00~17:00



フードバンク・フードドライブ活動は、安全な食材を有効に活用することにより、食品ロスの削減を図るとともに、支援を必要としている人たちと食品をつなぎます。この活動を通して、食の循環の構築を行い、助け合い社会の実現を目指しています。

【ご提供していただきたい食品等】

- ◆ 賞味期限が明記されているもの
- ◆ 賞味期限が一ヶ月以上残っているもの
- ◆ 未開封であるもの
- ◆ 破損で中身がでていないもの
- ◆ 米・農作物は常識の範囲内で古くないもの(冷暗所で保管されたもので虫などいないもの)

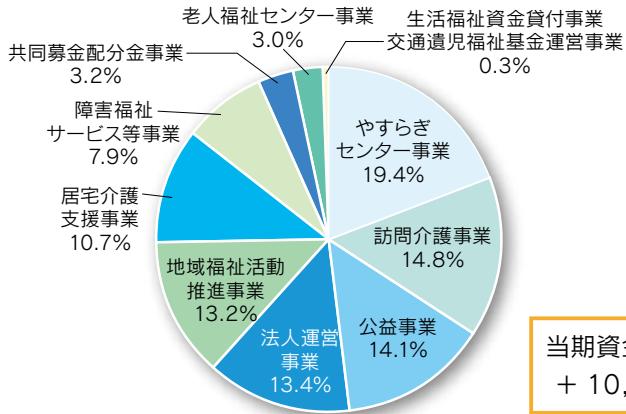
もったいないから ありがとうへ



令和元年度 事業報告・決算

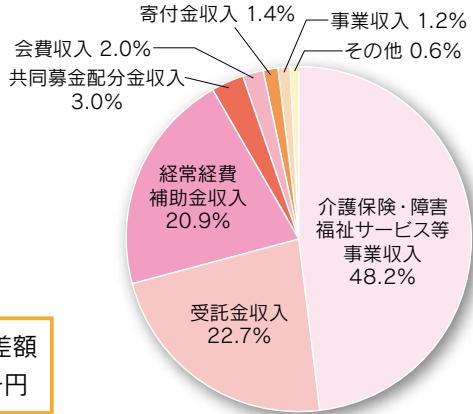
5月29日に理事会、6月22日に評議員会を開催し、令和元年度の事業報告及び収支決算などが承認されました。

歳出 248,135 千円



当期資金収支差額
+ 10,832 千円

歳入 258,967 千円



やすらぎセンター事業	48,201千円
訪問介護事業	36,827千円
公益事業(サンサン交流館・改善センター等)	34,921千円
法人運営事業	33,344千円
地域福祉活動推進事業	32,713千円
居宅介護支援事業	26,541千円
障害福祉サービス等事業	19,557千円
共同募金配分金事業	7,977千円
老人福祉センター事業	7,425千円
生活福祉資金貸付事業・交通遺児福祉基金運営事業	629千円

介護保険・障害福祉サービス等事業収入	124,709千円
受託金収入	58,686千円
経常経費補助金収入	54,016千円
共同募金配分金収入	7,968千円
会費収入	5,288千円
寄付金収入	3,619千円
事業収入	3,108千円
その他	1,573千円

【ふれあい・たすけあい・ささえあいのまちづくり事業】

事業名	事業内容	事業名	事業内容
地域福祉活動推進事業	地区社会福祉協議会活動の充実 ふれあい・いきいきサロン活動の充実 ご近所福祉ネットワーク活動の充実 はーとふるカプセル事業 ふれあい福祉相談事業 日常生活自立支援事業 ボランティアセンター事業 日常生活用具貸与事業 チャイルドシート等の短期貸出事業 夏のボランティア体験事業 災害ボランティア養成講座の開催 運転ボランティア交流会の開催 おぎやー号等福祉車両貸出事業 奉仕員養成講座の開催(手話・要約筆記) 地域型福祉学習事業 等	共同募金配分金事業	ボランティア協力校への助成事業 心を育む「ココイク」講座実施 赤羽根カフェ立ち上げ応援助成事業 介護者支援「赤羽根リフレッシュくらぶ」事業 ひきこもりほっとけん事業 障害者支援「ハッピーランチ」事業 ボランティア推進団体・福祉団体助成事業 地域力パワーアップ講座開催 サロンリーダー研修会開催 井原市社会福祉大会開催 認知症サポーター養成講座開催 ソトナカIBARA事業 トントン!と~とバッグプロジェクト事業 赤羽根エコシリーズ(エコT・エコC・エコR)事業 赤羽根カフェ事業 社協だより年6回発行 等

【介護保険・障がい福祉・その他運営事業等】

事業名	事業内容	事業名	事業内容
訪問介護事業	ホームヘルプサービス活動	いばらサンサン交流館事業	交流館さくらまつり開催 小田川大学開催 三世代交流事業開催 各種教室開催
居宅介護支援事業	要介護認定訪問調査 居宅介護支援事業活動	その他運営事業	井原市老人福祉センター運営 すばーく美星運営 美星農村環境改善センター運営 美星老人憩の家運営
やすらぎセンター事業	生きがい活動支援通所事業 通所介護事業		
障害福祉サービス事業	あゆみ園事業 (児童発達支援・放課後等デイサービス) 障害者相談支援事業		

心寄せありがとおひめらまおした

令和2年4月16日～令和2年6月15日（敬称略）

◇香典返し・満中陰志

亡父 芳井町花滝川上晴市

亡夫 西江原町出原恵美子
亡父 木之子町後藤一郎

亡妻 芳井町種橋本道夫
亡母 高屋町 中村浩二

亡母 笹賀町 久安正人
亡夫 下出部町坂本百合子

亡母 美星町三山森山時寛
亡母 美星町大倉東田昌志

亡父 神代町井上克徳
亡父 笹賀町原田安博

亡母 美星町烏頭田邊徹
亡夫 美星町明治森安敦子

亡夫 木之子町能見靖之
亡妻 井原町赤木康浩

亡母 美星町黒忠竹井賢二朗
亡母 美星町三山山下艶子

亡父 笹賀町芳井町相川上
亡母 美星町三山山下艶子

亡母 美星町鳥頭田邊徹
亡夫 美星町明治森安敦子

亡妻 井原町三村徳道
亡母 岡山市深本暉男

芳井町築瀬妹尾美津江
芳井町川相井本啓子

亡母 大江町崎谷成信
亡父 笹賀町木之子町内田弘之

芳井町築瀬妹尾美津江
芳井町川相井本啓子

亡母 木之子町内田弘之
亡父 木之子町内田弘之

芳井町築瀬妹尾美津江
芳井町川相井本啓子

亡母 七日市町安井廣子
亡母 門田町木下浩次

芳井町築瀬妹尾美津江
芳井町川相井本啓子

亡母 芳井町吉井久田康世
亡母 芳井町吉井久田康世

芳井町築瀬妹尾美津江
芳井町川相井本啓子

◇見舞い返しにかえて



美星町三山山下艶子

この広報誌は、共同募金の配分金で発行しています。

～夏のボランティア体験事業の中止のお知らせ～

毎年、市内の中学生・高校生を対象として実施していました『夏のボランティア体験事業』は、新型コロナウィルス感染拡大防止のため、今年度の開催を中止とさせていただきます。



ふれあい福祉相談センター

※相談は無料で秘密は厳守します。

（祝日は除く）

【予約先】井原市社会福祉協議会 ☎ 62-1484

相談	内容	日時
ふれあい福祉相談	日常生活上の心配ごとや悩みごと等の相談	月～金曜日 8:30～17:00
法律相談 要予約	法律上の難しい問題の相談 1件30分以内 (財産・相続・金銭貸借・境界問題等) ～新型コロナウィルス感染の拡大状況により、	7/28(火) 13:00～16:00 8/4(火) 13:00～16:00 8/18(火) 13:00～16:00 9/1(火) 10:00～15:00 9/15(火) 13:00～16:00 中止する場合があります～
ひきこもり専門相談 要予約	専門家によるひきこもりに関する相談	7/22(水) 10:00～12:00 8/26(水) 10:00～12:00
療育相談	就学前の子どもの心配や悩みごとに関する相談	月～金曜日 8:30～17:00
介護相談	家庭介護や各種福祉サービスに関する相談	月～金曜日 8:30～17:00
金銭管理等支援相談	福祉サービスの利用や日々のお金のやりとりの不安や悩みの相談	月～金曜日 8:30～17:00
福祉貸付相談	世帯の生活の安定を図るための資金貸付の相談	月～金曜日 8:30～17:00

8月の赤羽根力フェ立上げ説明会

日時：8月14日（金）

11時～12時

場所：井原市総合福祉センター

